

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 1日

沖縄県知事 殿

提出者

住 所 沖縄県豊見城市字与根50番地5

氏 名 社会医療法人 友愛会 友愛医療センター

院長： 新崎 修

電話番号 098-850-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	社会医療法人 友愛会 友愛医療センター
事業場の所在地	沖縄県豊見城市字与根50番地5
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

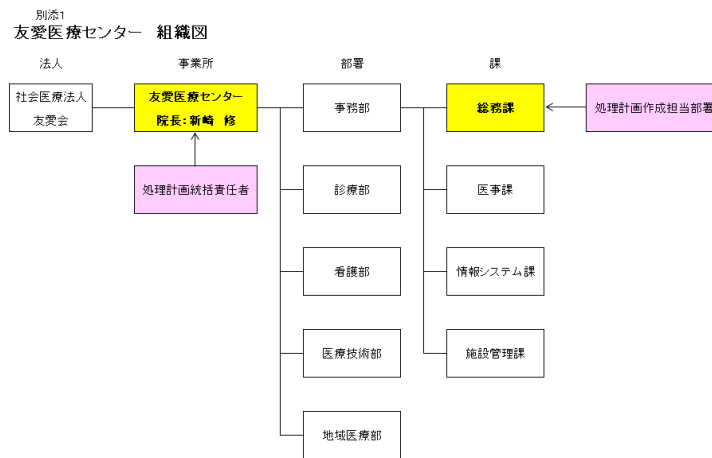
① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	378床
③ 従業員数	約1400人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【沖縄県医療廃棄物事業協同組合】 友愛医療センター（当院）で医療廃棄物を集積。沖縄県医療廃棄物事業協同組合が感染廃棄物保管庫より感染性廃棄物を収集し、同組合事業所内にて焼却処理によって中間処理を行う。その後、沖縄県医療廃棄物事業協同組合が株式会社久和建創/イー・アール・シー高城へ焼却灰等を運搬し、最終処分（焼却・融解/固化/管理型埋立）を行っている。</p> <p>【アサヒプリテック株式会社】 友愛医療センター（当院）で医療廃棄物を集積。アサヒプリテック株式会社沖縄営業所が医療廃棄物を収集し、集積保管。琉球海運株式会社が博多港埠頭までコンテナ輸送し積替保管。株式会社森商事がアサヒプリテック株式会社北九州工場まで運搬し、アサヒプリテック株式会社北九州工場にて中間処理を行う（焼却処理）。その後、ひびき灘開発株式会社にて最終処分（管理型埋立）を行う。</p>

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	排出量	219 t	1 t
	（これまでに実施した取組） 感染性廃棄物を廃棄する際のコストを職員に周知し、 感染性廃棄物の排出軽減を行った		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	排出量	219 t	1 t
	（今後実施する予定の取組） 職員にコストと地球環境を意識を周知し排出量軽減努力を継続していく。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物を入れるゴミ庫は病院内にあり、他の廃棄物との混入を防いでいる
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 職員への感染性廃棄物の振り分け意識を向上させる

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	219 t	1 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	全処理委託量	219 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	219 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
（これまでに実施した取組） 全ての特別管理産業廃棄物の廃棄を優良認定処理業者へ依頼した。			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性
	全 処 理 委 託 量	220 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	220 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>病院設備である浄化槽を適正かつ、効果的に利用し、感染性廃液の排出量の削減を目指す</p>		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	220 t	
	<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <p>すべてマニフェストを電子化を継続し、適切な報告を行う。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。